



9月 園だより(地域版)

社会福祉法人博愛福祉会 下牧こども園

TEL: 46-9381 Fax: 46-9382

発行 令和8年9月1日

文責 園長 山田

子どもたちの喜ぶ顔が一番！

今年も下牧こども園保護者会による「夏祭り」を、関係者皆さんのお力を集めて開催することができました。その中でも、毎年「あっちゃんおじさん」こと伊藤さん（園のバス運転手）の段取りと暑さの中での下準備には感謝の極みです。お礼の言葉を伝えれば「子どもたちの喜ぶ顔を見てきたから、それが一番、やってあげたくなってしまう。」との言葉が返ってきました。保護者の皆様も同じお気持ちでしょう。準備から最後の片づけまで、清々しい協力と団結力が伝わってくるのです。たった2時間のためですが、その2時間に繰り広げられる興奮や景色が故郷の思い出として子どもたちの心にずーっとずーっと残っていくことなのでしょう。この夜は、夜空を見上げて、静かに光を放つお月様と一番星の美しさに心を馳せた子もいたことなのでしょう。



「保育体験」に 25 人（のべ 65 人）が参加

昨年度から始めた「保育体験」も 2 年目とな
って、夏休み中の卒園児（小中学生）がたくさ
ん参加してくれました。写真のように一緒に盆踊
りを踊ったり、プールで一緒に遊んだり、プール掃



除を先生と一緒に
やったり、ミニ先生
大活躍の 3 週間で
した。園内がとって

もにぎやかで活気があって、園児たちはもちろん私たちも楽しかった
です。来年も楽しみに待っています。



7 月 10（金）中日新聞に掲載

美濃・下牧こども園 県産材使い木育

木材にくぎを打ち込む園児
美濃市長瀬の下牧こども園で

美濃市長瀬の下牧こども園で 7 日、園児が県産スギを使って箱椅子作りを楽しんだ。木育の一環で毎年実施。完成した椅子は中に手形をつけて園内で使用し、卒園時に持ち帰る。
地元有志や、森林活用を進める市内のボランティア団体「山の駅ふくべ」が協力。年長児 4 人が大人の手を借りながら、椅子の土台となる木材を接着し、くぎを打ち込んだ。後日、天板をのこぎりで切り、塗装して仕上げる。

園児は椅子作りに向け、市内の森林を見に行つてスギの特徴を学び、くぎ打ちの練習に励んできた。成果を発揮してボランティアを驚かせた。

吉田金義さん（78）は「ボ

ランティアを続けて 10 年ほどになる。かわいい園児からパワーをもらえる」とやりがいを語った。

（小林桃子）

くぎをトントン 箱椅子作り

年長児 5 人と木育ボランティアのおっちゃんとの共同作業が始まりました。共同作業を通して、名前呼び合ったり、手をつないで案内したり、遊んでもらったりとふれ合いが広がり深まっていくのが楽しみです。今年も木育ボランティアの皆様には、大変お世話になっています。

